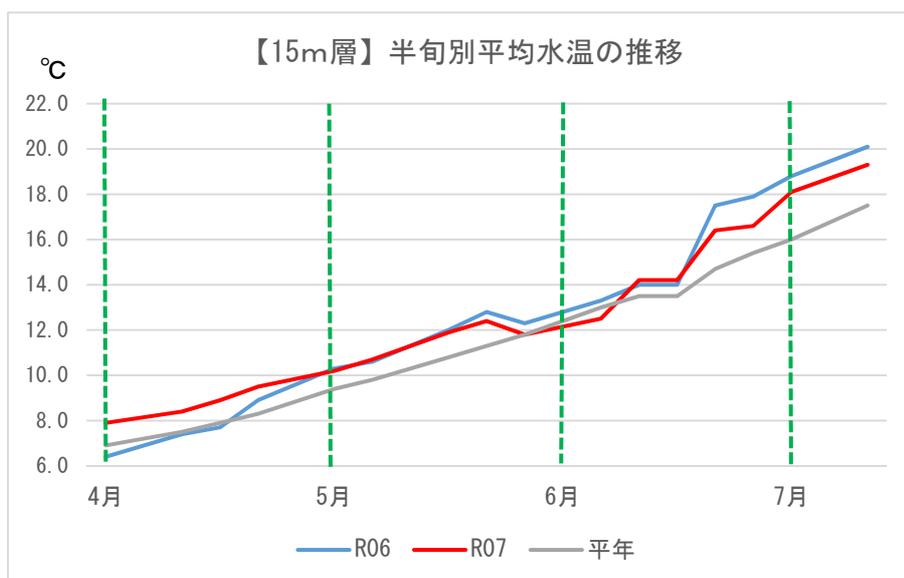


## ホタテガイ生産の現状について

### 1 海水温の状況【7/11~7/14の平均水温】※注1

項目		1m層	15m層	30m層	底層	備考
青森ブイ	令和7年	21.1℃	19.3℃	17.0℃	14.2℃	
	昨年差	▲0.8℃	▲0.8℃	▲2.2℃	▲2.6℃	
	平年差※注2	1.6℃	1.8℃	0.8℃	0.0℃	



### 2 ホタテガイ生産状況〔市管内（青森市漁協+後潟漁協）計〕

#### ①生産量【1月~6月生産量】

項目	計	内 訳			備考
		稚貝	半成貝	成貝	
今年【R7】	975.9 トン	0.9 トン	946.5 トン	28.5 トン	
昨年【R6】	1,730.6 トン	1.7 トン	1,641.5 トン	87.4 トン	1月~6月
R2~R6 平均	8,055.4 トン	260.8 トン	7,555.2 トン	239.4 トン	1月~6月

#### ②生産額【1月~6月生産額】

項目	計	内 訳			備考
		稚貝	半成貝	成貝	
今年【R7】	465,502 千円	257 千円	443,973 千円	21,272 千円	
昨年【R6】	478,782 千円	517 千円	439,911 千円	38,754 千円	1月~6月
R2~R6 平均	1,303,752 千円	48,720 千円	1,173,000 千円	81,938 千円	1月~6月

注1：7/15 発行「陸奥湾海況情報」No.1556（青森県産業技術センター水産総合研究所）

注2：平年値：過去40年(1985年~2024年)の平均値

### 3 令和7年度春季陸奥湾養殖ホタテガイ実態調査

#### (1) 調査主体

陸奥湾内各漁業協同組合

#### (2) 調査協力

むつ湾漁業振興会、関係市町村、(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所、県

#### (3) 調査期間及び対象

##### ①現地調査(生育状況等)

- 調査期間 令和7年5月19日～5月23日
- 対象員 令和6年産貝
- 対象者 全養殖業者の5% (10漁協45名)

##### ②間取り調査(保有枚数等)

- 調査期間 令和7年5月19日～6月6日
- 対象員 令和5年産貝及び令和6年産貝
- 対象者 全養殖業者(10漁協839経営体)

#### (4) 調査結果(陸奥湾全体の状況)

##### ①令和6年産稚貝分散直後のへい死率

- 稚貝分散以後の成長が見られない貝のへい死率(直後のへい死率)は51.2%。データがある平成30年以降では最も高い値。
- へい死原因は、高水温によって疲弊したホタテガイは鰓の機能低下と餌不足により体力の回復ができず、稚貝分散時には生存していた個体もへい死や成長不良となった可能性。

##### ②令和6年産貝成育状況(分散直後のへい死以降)

- へい死率(4.8%)及び異常貝率(4.3%)は平年並み。殻長(6.1cm)、全重量(27.1g)及び軟体部重量(10.5g)は平年を下回り、昭和60年以降最も低い値。

##### ③親貝保有枚数

- 令和6年産貝の成貝用の保有枚数は9,245万枚(4月30日現在)で直近5年平均の64%。

#### <分散直後のへい死率(青森市)>

漁協	地区等	へい死率
後 潟	組合計	74.2%
青森市	奥 内	69.8%
	油 川	57.8%
	青 森	73.6%
	造 道	97.3%
	原 別	79.1%
	野 内	45.8%
	久栗坂	54.3%
	組合計	68.5%

#### <参考>ホタテガイ保有枚数(青森市)※4月30日現在

(単位:万枚)

項 目	調査前年産貝 (A)	(内訳)			過年産貝 (B)	計 (A)+(B)	
		半成貝用	成貝用	販売済			
青森市	R7 調査 ①	6,070	5,709	358	3	337	6,407
	R6 調査	5,453	5,049	392	12	578	6,031
	平 年 値 ②	31,571	24,336	535	5,900	266	31,837
	平年比較 ①/②	19.2%	23.5%	66.9%	0.1%	126.7%	20.1%

※春季陸奥湾養殖ホタテガイ実態調査結果(平年値:R1~R5平均)

(5) 今後の指導内容

- 来年の安定採苗につなげるため、令和6年産貝が少ない中でも、異常貝率が低く、収容枚数が少ないものを親貝用とした上で、施設をできるだけ水温の低い下層に沈めて安定させて養殖すること。
- 高水温後の稚貝は疲弊しているので、中層の水温が23℃を下回っても、すぐには分散作業を行わず、貝の体力の回復を待ってから行うこと。